

研究協力のお願い

昭和医科大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胆管内視鏡治療における最適な結石治療の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年4月1日から2025年10月31日の間に昭和医科大学江東豊洲病院で胆管結石に対する胆管内視鏡治療を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

胆管もしくは膵管結石は最もよく見られる胆道・膵臓疾患であり、胆管と膵管の内視鏡治療が最も行われている疾患でもあります。未だ最適な結石除去方法については検討され続けており、新しい処置も次々と使用可能となっています。結石の治療はバルーンカテーテルがバスケットカテーテルに比べてやや有効と報告されていますが、新規バスケットカテーテルも出現しており、その成績が変化してきていることが予想されます。そこで、結石の治療を受けられた患者さんで、新規バスケットカテーテルを含めた結石の治療についての有効性を検討します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

結石に対して内視鏡治療を受けた患者さんの臨床記録から、患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、退院日、入院期間、転帰）、身体所見、血液検査所見、画像検査所見、治療内容、使用処置、使用内視鏡を調査対象とします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター 川崎 佑輝

研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	牛尾 純
	昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	角 一弥
	昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	加藤 久貴

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられるについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :

所属 : 昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター 氏名 : 川崎 佑輝
住所 : 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号 : 03-6204-6000